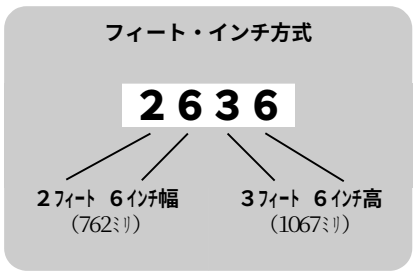
インチ方式…3042
読み方→30インチ幅　42インチ高
（762ミリ）　（1067ミリ）
フィート・インチ方式…2636
読み方→２フィート　６インチ幅
３フィート　６インチ高
（762ミリ）　（1067ミリ）



注意　表示されている数字は違っても、日本のメーターに換算すると同じ長さになります。発注先の窓メーカーがどちらの方式なのか、必ず確認してください。届いてから気がついても、手遅れです。

３．壁厚の寸法出しと窓の厚さ

米国の壁の厚さ、つまり２×４（呼称寸法）もしくは２×６（呼称寸法）の間柱に合わせて作られています。実際の寸法は、何年にもわたる製材節約の結果、縮小した寸法に統一されています。（参照：データ１）

米国では、壁の厚さは次の方法で算出しています。

データ１

間柱の基準サイズ（実寸法）

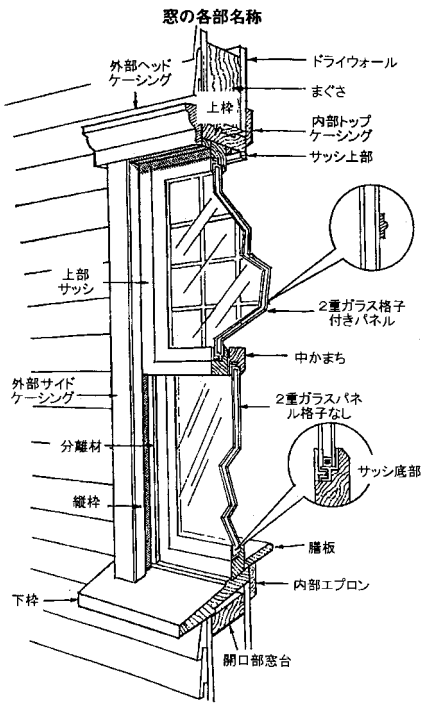
呼称寸法	実寸法
２×４	1.5インチ×3.5インチ
（38ミリ）	（89ミリ）
２×６	1.5インチ×5.5インチ
（38ミリ）	（140ミリ）

データ２

窓の厚さの標準寸法
４－９／16インチ（116ミリ）
６－９／16インチ（167ミリ）

〈壁厚の寸法出し〉

外壁下地材＋間柱＋内装石膏ボード＝壁厚の寸法
0.5インチ（12ミリ）



２×４材（89ミリ）
２×６材（140ミリ）
＊参照：データ１
0.5インチ（12ミリ）
4.5インチ（114ミリ）
6.5インチ（165ミリ）

窓の厚さの標準寸法

標準的な窓は、壁厚より１／16インチ（1.6ミリ）厚く作られています。これは、縦枠が壁よりわずかながらも出ていたほうが、額縁を回す時に取付けが簡単になるからです。間柱材が曲がって壁が少々ゆがんでいても、この余分なはみ出しがそのギャップを解消してくれます。

この窓の縦枠の厚さは、通常のツーバイフォー住宅であればどこででも適応できます。もちろん、違った厚みの窓もあり、それらはスティールハウスの間柱やコンクリート住宅、コンクリートブロック住宅で使われたりします。特別なサイズの対応も可能ですが、その際は特注単価が加算されます。

注意事項
１．水切り――木製窓、樹脂製窓
２．ラフ開口部と窓幅の決め方
３．延長枠の活用

１．水切り――木製窓、樹脂製窓

●木製窓

木製窓においては特別仕様の金属製もしくは樹脂製の上部水切りが必要になります。メーカーによっては、これらの水切りを窓本体と一緒に提供しているところもあります。もしそうでなければ、板金工場で作ってもらうと良いでしょう。

●樹脂製窓

樹脂製は、特に上部水切りは要りません。その理由は、上部枠と縦枠が熔接されており、水が入らないからです。

２．ラフ開口部と窓幅の決め方

ラフ開口の寸法出しは、標準的なサイズがないため、少々難しいかもしれません。

あるメーカーは「2020」と窓を呼ぶとき、22インチ×22インチ（559ミリ×559ミリ）を指します。商品カタログで開口部の寸法を表示している会社もあります。

通常、開口部の寸法は、窓枠より１／２インチ（12ミリ）大きくします。ほとんどのメーカーは、表記上の寸法より１／２インチ（12ミリ）小さく作っています。

例えば、「2020」の窓（24インチ×24インチ、610ミリ×610ミリ）なら、実際には23－１／２インチ×23－１／２インチ（597ミリ×597ミリ）で作られており、この窓の開口部は2020、もしくは表記されている寸法になります。これにより、両側には１／４インチ（６ミリ）、上部には１／２インチ（12ミリ）の余裕が生まれ、窓位置の調整が可能になります。

すべての窓がこのようなわけではないので、窓メーカーに尋ねるのが一番でしょう。

【注意】　通常、表記寸法より１／２インチ（12ミリ）小さく窓を作っています。

データ３

〈通常の場合――2020の例〉

表記寸法	実寸法
2020　24インチ×	24インチ
（610ミリ）	（610ミリ）

開口部と窓との空間
・左右両側　0.25インチ（６ミリ）
・上部　0.5インチ（12ミリ）

３．「延長枠」の活用

窓枠が石膏ボードまで届かない場合、どうするのか輸入窓は２×４、２×６の構造壁に合わせて作っています。従って、輸入窓の縦枠や窓枠の幅を、日本の在来工法にぴったりくるように調整する方法を確立する必要があります。

ツーバイフォー工法と軸組工法では、壁の厚さが違います。（参照：データ３）

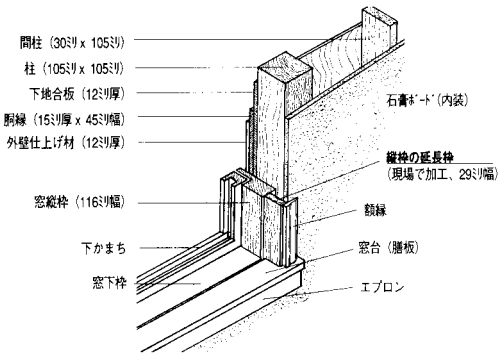
この差16ミリが、そのまま輸入窓の「枠幅の不足」となります。窓枠と石膏ボードの見切りとの隙間を覆う「拡張枠」を作る必要が出てきます。

米国でも、標準寸法と違うサイズの壁を作る時、延長枠を作ります。通常、この延長枠は注文すればどんな寸法にも窓メーカーが作ってくれます。拡張枠は窓に取付けてない、外れた状態で現場まで送られます。米国では、窓がはめ込まれ、ドライウォール作業が終了してから、仕上げ大工がこの延長枠と額縁を取付けています。

また額縁を取付けるにあたって、この延長枠を現場で、仕上げ加工製材から作ることも可能です。ただし、この製材は四面がすべてきれいになっていなければいけません。このタイプの製材を米国では「Ｓ４Ｓ」と呼んでいます。

この材料は、正確な幅にテーブルソーで縦引かれ、窓枠に釘打ちします。この方法ですと、延長枠が必要な幅に正確に作ることができるので

延長枠の取付け方（現場で加工する場合）



アメリカ・シアトルより
貴社の業務をサポート
「建築資材輸入」の
お手伝します

日本人経営の会社です
商慣習や言語の違い心配いりません。
数量の大小に係わらずお手伝します。

IMPAC COMPANY, INC.
インパック・カンパニー株式会社
5059 S.W. Admiral Way Seattle, Washington 98116
TEL 206-937-4825　FAX 206-937-4988　担当　大川